

島のむんがたり

「タキンシャ（滝下）
―実熊滝―のこと」

すでに百歳を優に超す亀津近辺の往年の先輩諸氏にとっても、水あしび場＝夏の避暑地であり、今風の言うところの水泳やハイキングなど近場の行楽地。また少し大げさでオシャレ？に言えば当時の青少年たちにとっての「青春の発露の場」であった。夏になると三々五々、

亀津の街を亀津中学校から大瀬川沿いを池田線に沿ってテクテクと20分ほど登りそこから左手に降りて行くと、夏休みの一番の思い出を作ったのが他ならぬあの「タキンシャ」に違いない！？そこでは往時、東京や鹿児島からの帰省学生や島の同級生など若者が集い、滝に打たれるもの、滝つぼで

泳ぐもの、また滝の水しぶきを浴びながら水辺で語り合うもの、それぞれがふるさとでの貴重な時間を惜しんで、青春を謳歌していたのである。

筆者は15年ほど前に同級生と「タキンシャ遊び」を決行。かつての道はなく、下流から入り、覆いかぶさる雑木をかき分け、ゴロゴロの石に足を取られながらたどり着く。およそ40年ぶりの「タキンシャ」との対面、感激に疲れも「滝」に流されるが如く心身の清涼感満喫！全員言葉を忘れたたずむ。缶ビール片手に握り飯をほおばりながら、かつての悪童たちが夢多かりし青春をしばし偲んだ

ある日のことである。

願わくば、現在のタキンシャを町の景勝地や、亀津から近場の遊び場として「兵（つわもの）どもの夢の跡」を蘇らせることができればと夢みる。（町誌編さん専門員 岩下洋一）



【現在のタキンシャ】



【昭和30年頃】
(秋丸昌久氏提供)



【昭和10年頃】

問 郷土資料館
☎ 0997-82-2908